

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さわやか愛の家やまが館			公表日		2025年12月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	学習の場、活動の場、静養室などを分けて支援しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	現在機能訓練指導員の配置により、専門的な個別支援が可能となりました。	より多くの児童に、個別による専門的訓練を受けられるよう計画を立てています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	生活空間は児童が安心して過ごせるように、事業所内の清掃や感染防止の対策として机の上やドアノブ、玩具などの消毒を行っています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、感謝しております。	保護者の皆様からのご意見を真摯に受け止め、安心して利用いただけるよう改善をしております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	事業所として外部評価は行っていませんが、本社による内部監査を定期的に行っております。	法人として第三者による外部監査を受けています。今後も本社のもと業務改善に努めてまいります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		毎月スキルアップ研修を行っております。今後も本社のもと、業務改善に努めてまいります。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		支援プログラム作成を行い、保護者様にお知らせをしております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		個別支援計画作成にあたり、本人や保護者様に家庭や学校でのニーズを聞き取りながら、計画作成を行っております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	普段の業務に追われているため業務の効率化を行い時間を確保する	定期的な支援会議の時間を設け職員間で共通理解しよりよい支援を行っております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	定期的を確認する時間が必要である	職員がどのように支援を行い、その結果どうであったか支援経過記録を丁寧に記録するようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		地域資源の活用や関係機関との連携の在り方を深めて、よりよい支援構築を行います。事業所と家庭だけではなく地域社会全体での育ちをサポートできる体制を整えて参ります。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		職員間で話し合いやまが館ならではの取り組みの内容などを立案しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別計画に基づき集団活動と個別活動を、それぞれ取り入れております。	今後も保護者様のご希望を取り入れながら、集団活動と個別活動を実施してまいります。また専門的活動も提供してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝ミーティングを行い、当日の利用者の確認や送迎時間、活動の内容や担当など共有しております。	前日の活動内容や児童の状況の振り返りも行ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼時に当日の活動の振り返りや児童様の様子を共有し、改善点を話し合っております。	当日の出来事や気になったことを全職員で情報共有を行ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		記入漏れが無いよう今後も継続して記録の確認を行ってまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		長期的な展望を見据えながらより短いスパンでの目標達成の検討も必要に応じて随時受け付けております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		児童様の日々の様子を職員間でミーティングする際に、児発管がまとめたものを担当者会議で共有を行っております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	時間割を学校から渡してもらったり、LINEで保護者様に時間割を送っていたり、とても助かっております。	今後も全職員で情報共有をし、支援を行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		現在実績が無いため、今後対象児童がいる場合は支援内容や情報の共有を行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	機会を設けることが必要である	積極的にスーパーバイズを要請し、地域の中での役割を果たすことができるよう体制を強化してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		交流の機会が持てるよう検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		鹿本地域療育部会に参加をしております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		イベントや交流会での保護者様
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		事業所内でのイベント参加を促し、保護者同士の交流できる機会を設けていけるよう工夫してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	地域のデイサービスに訪問し、お年寄りと児童との交流を図っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的に訓練を行なっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に児童を交えて訓練を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		毎月安全管理の研修を行っております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		職員が気付いた際にヒヤリハットを提出して再発防止に努めております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		3ヶ月に1回虐待防止・身体拘束廃止の研修を行っております。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			